(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 5年 6月 16日

都道府県知事

(市長) 殿

提出者熊本県果実農業協同組合連合会

住 所 熊本市東区小山町1846番地

氏 名 代表理事会長 橋本明利

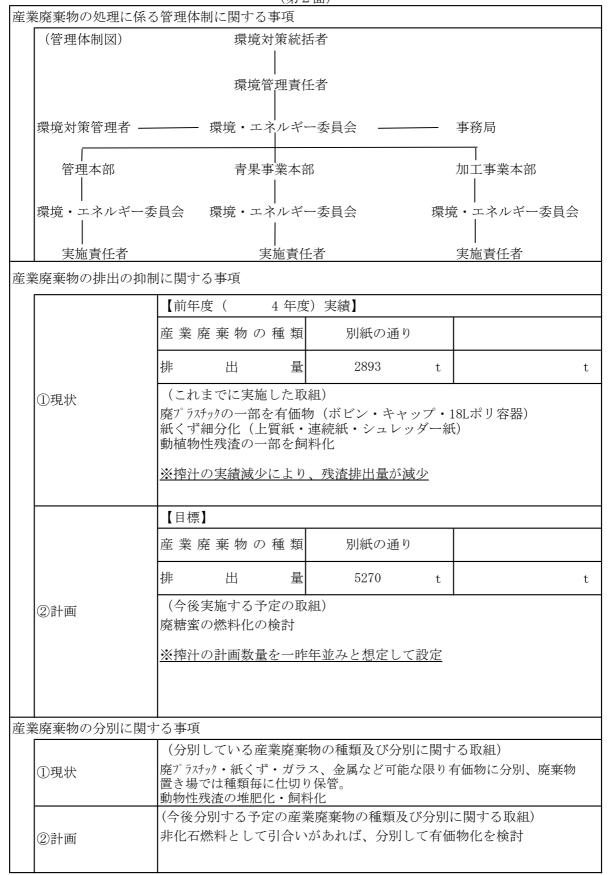
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 096-389-3319

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称) 名	称		熊本県果実農業協同組合連合会熊本工場				
	事業場の所在地				主地		熊本市東区小山町1846番地				
	計	画		期	間		令和5年4月1日~令和6年3月31日				
当該	亥事 🤄	業場に	こお	いて	現に	行っ	ている事業に関する事項				
	1	事	業	の	種	類	飲料(10)				
	2	事	業	の	規	模	販売実績 85億120万円				
	3	従	3	É	員	数	173名				
	4	産う	業の欠	落 勇	乗物!のコ	0)	植物性残渣 : 処理業者にて、堆肥・飼料等にて再資源 廃プラスチック: 処理業者にて、燃料又はその原材料に再資源 紙くず : 処理業者にて、燃料又はその原材料に再資源 金属くず : 処理業者にて、燃料又はその原材料に再資源 ガラスくず : 処理業者にて、燃料又はその原材料に再資源				

(日本産業規格 A列4番)



自员	っ行う産業廃棄物の再	写生利用に関する事項						
		【前年度(4年度)実績】						
		産業廃棄物の種類	別紙の通り					
		自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t				
	①現状	(これまでに実施した取組))	•				
		特に実施していない						
		【目標】						
		産業廃棄物の種類	別紙の通り					
		自ら再生利用を行う	t	t				
	②計画	産業廃棄物の量 (今後実施する予定の取組)						
		特に実施していない	,					
自身	っ行う産業廃棄物の中 「	中間処理に関する事項						
		【前年度(4年度)	実績】	T				
		産業廃棄物の種類	別紙の通り					
		自ら熱回収を行った 産業廃乗物の量	t	t				
	①現状	自ら中間処理により減量した 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t				
		(これまでに実施した取組))					
		特に実施していない						
		【目標】		T				
		産業廃棄物の種類	別紙の通り					
		自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t				
	②計画	自ら中間処理により減量する 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t				
		(今後実施する予定の取組))					
		特に実施していない						
	I .							

自身	自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項								
		【前年度(4年度)実績】							
		産業廃棄物の種類別紙の通り							
		自 ら 埋 立 処 分 又 は 海洋投入処分を行った t t 産 業 廃 棄 物 の 量							
	①現状	(これまでに実施した取組)							
		特に実施していない							
		I to take							
		【目標】							
		産業廃棄物の種類別紙の通り							
		自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う t t 産業廃棄物の量							
	②計画	(今後実施する予定の取組)							
		特に実施していない							
産業	美廃棄物の処理の委託	に関する事項							
		【前年度(4年度)実績】							
		産業廃棄物の種類 別紙の通り							
		全 処 理 委 託 量 2893 t t							
		優良認定処理業者への 処理 委託 量 330 t t							
		再生利用業者への 処理委託量 2563 t t							
	①現状	認定熱回収業者への 処理 委託 量 0 t							
		認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理 委託 量							
		(これまでに実施した取組)							
		廃プラスチックの一部を有価物(ボビン・キャップ・18Lポリ容器) 紙くず細分化(上質紙・連続紙・シュレッダー紙)							
		動植物性残渣の一部を飼料化							

(第5面)

	\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \							
	【目標】							
	産業廃棄物の種類	別紙の通り						
	全 処 理 委 託 量	t	t					
	優良認定処理業者への 処理 委託 量	t	t					
	再生利用業者への 処 理 委 託 量		t					
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t					
②計画	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量		t					
(a) E1 E1	(今後実施する予定の取 廃糖蜜の燃料化の検討	双組)						
			_					
※事務処理欄								

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書内訳(今年度(令和5年度)目標値)

(単位:トン)

										(単位:トン)
産業廃棄物の種類	産業廃棄物の排出に関 する事項	自ら行う産業廃棄物の再 生利用に関する事項	自ら行う産業廃棄物の中 間処理に関する事項		自ら行う産業廃棄物の埋 立処分又は海洋投入処 分に関する事項	産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
ENOUN IN IEM	排出量	自ら再生利用を行う量	自ら熱回収を行う量	自ら中間処 理により減量 する量	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う量	全処理委託量	優良認定処理業者への 処理委託量	再生利用業者への 処理委託量	認定熱回収業者への 処理委託量	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量
汚泥	5	0	0	0	0	5	5	0	0	0
廃油	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0
廃酸	1,200	0	0	0	0	1,200	1,200	0	0	0
廃プラスチック類	48	0	0	0	0	48	48	0	0	0
紙くず	10	0	0	0	0	10	10	0	0	0
木くず	3	0	0	0	0	3	3	0	0	0
動植物性残渣	4,000	0	0	0	0	4,000	0	4,000	0	0
金属くず	2	0	0	0	0	2	2	0	0	0
ガラス・陶磁器くず	1	0	0	0	0	1	1	0	0	0
がれき類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	5,270	0	0	0	0	5,270	1,270	4,000	0	0